

# 日本古楽界の第一人者、夢の共演

指揮:鈴木秀美

Hidemi Suzuki

古楽のエキスパートによる、  
前期ロマン派への眼差し

ヴァイオリン:佐藤俊介

Shunske Sato

古典から現代まで  
幅広いレパートリーを持つ  
名手のシューマン!

メンデルスゾーン:交響曲第4番 イ長調 作品90 《イタリア》

シューマン:ヴァイオリン協奏曲 二短調

シューマン:交響曲第4番 二短調 作品120 (1841年原典版)

photographer: ©K.Miura (鈴木秀美)、(c)Marco Borggreve (佐藤俊介)

# 10/1

2023

[日] 13時開場/14時開演 東京オペラシティコンサートホール

パシフィックフィルハーモニア東京 第2回東京オペラシティ定期演奏会

定期会員先行発売:6月9日[金] 一般発売:6月16日[金]

S席:7,000円 A席:5,500円 B席:4,500円

ご予約・お問い合わせ:PPTチケットデスク 03-6206-7356 (平日10-18時)

パシフィックフィルハーモニア東京  ppt.or.jp



主催:一般社団法人パシフィックフィルハーモニア東京

助成:公益財団法人アフィニス文化財団



公益社団法人企業メセナ協議会 助成認定活動



PACIFIC  
PHILHARMONIA  
TOKYO

NORICHICA IIMORI  
MUSIC DIRECTOR

伝統に「革新」を取り入れる。



## ライブツィヒの盟友2人の「いわくつき名曲」を新鮮に再現

メンデルスゾーンは1809年、シューマンは1810年の生まれで1歳しか違わない。1835年にメンデルスゾーンがライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団のカペルマイスター(楽長)に就くと、2人は互いを認め合うようになる。シューマンは自作だけでなく、シューベルトの兄の家で発見した交響曲(ザ・グレート)の初演指揮もメンデルスゾーンに委ねた。今日「第4番」と呼ばれる、それぞれの交響曲の初稿に満足せず改訂を重ねた点でも2人は共通する。シューマンの「ヴァイオリン協奏曲」は時代を先取りした楽想が「狂気の産物」と誤解され死後80年間も埋もれ、20世紀半ばに初演された。

ヴァイオリンの佐藤俊介、指揮の鈴木秀美(チェロ奏者でもある)の2人はピリオド楽器も手がけ、現代のオーケストラとの共演でも作品本来の姿を究める姿勢で共通する。鈴木はシューマンの協奏曲に深い愛情を寄せ「チェロ協奏曲」の弾き振りに挑んだこともあったし、「ヴァイオリン協奏曲」の指揮でも楽譜の指定通りの遅いテンポを忠実に実行していた。シューマンが1830年にパガニーニの実演に衝撃を受けて以来温めてきたヴァイオリン協奏曲の世界に佐藤が鈴木ともども、どう斬り込むかも注目される。

池田卓夫(音楽ジャーナリスト@いけたく本舗®)



### 指揮:鈴木秀美 Hidemi Suzuki

国内外でチェリスト、指揮者として幅広く活動し、オーケストラ・リベラ・クラシカを創設、アルテ・デラルコ及びソニー他のレーベルよりCDリリース多数。文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞、斎藤秀雄メモリアル基金賞等を受賞。著書に「『古楽器』よ、さらば!」「ガット・カフェ」「無伴奏チェロ組曲」。神戸市室内管弦楽団音楽監督。山形交響楽団首席客演指揮者。東京藝術大学古楽科講師。東京音楽大学チェロ科客員教授。日本ベーターヴェンクライス副代表理事。



### ヴァイオリン:佐藤俊介 Shunsuke Sato

モダン、バロック双方の楽器を弾きこなし、バロックでは、コンチェルト・ケルン等と、モダンでは、日本の主要オーケストラや、ベルリン・ドイツ・オペラ管、バイエルン放送響、フィラデルフィア管、ボルティモア響、ナショナル響、シアトル響等と共演。2010年、第17回ヨハン・セバスティアン・バッハ国際コンクールで第2位および聴衆賞受賞。出光音楽賞、S&Rワシントン賞受賞。2019年度 第61回毎日芸術賞、第70回芸術選奨 文部科学大臣新人賞を受賞。

2013年よりアムステルダム音楽院古楽科教授を務める。

2018年6月よりオランダ・バッハ協会第6代音楽監督を務め、日本ツアーを成功させた。

最新盤の「J.S.バッハ:無伴奏ソナタ&パルティータ(全曲)」が、19年度第57回レコード・アカデミー賞大賞銀賞(器楽曲部門)を受賞。



### 管弦楽:パシフィックフィルハーモニア東京 Pacific Philharmonia Tokyo

1990年「東京ニューシティ管弦楽団」として設立。定期演奏会等の自主公演の他、オペラ、バレエ、レコーディング、メディア出演、ポップス演奏会など幅広く活動。2018年からは楽団誕生の地・練馬で定期演奏会を開催し、地元根差した活動も行っている。音楽監督:飯森範親、指揮者:園田隆一郎、ポップスエグゼクティブプロデューサー:藤原いくろう

チケット購入 定期会員先行発売:6/9[金] 一般発売:6/16[金]

S席:7,000円 A席:5,500円 B席:4,500円

パシフィックフィルハーモニア東京

[ppt.or.jp](https://ppt.or.jp)



PPTチケットデスク(平日10-18時)

03-6206-7356

会場 東京オペラシティ コンサートホール



〒163-1403

東京都新宿区西新宿3-20-2

初台駅(京王新線)東口より徒歩5分

[注意事項] ※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※やむを得ず、出演者・演目に変更になる場合がございます。 ※公演中止の場合を除き、チケットのキャンセル・払い戻しは行いません。

### プレイガイド

・東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999(10-18時)月曜定休

・チケットぴあ  
<https://t.pia.jp>



・イープラス  
<https://eplus.jp>



### 割引

- ・シニア割引:10%OFF (60歳以上)
  - ・ユニバーサル割:10%OFF (障害者手帳をお持ちの方)
  - ・U25割:50%OFF (25歳以下)
  - ・団体割:10%OFF (10名様以上のご予約者全員)
- ※この他の割引に関しては楽団のWEBサイトをご覧ください。

### メールマガジン・SNS

### 最新情報・お得な情報はこちらから



LINE



Twitter



Instagram



Facebook



メルマガ登録